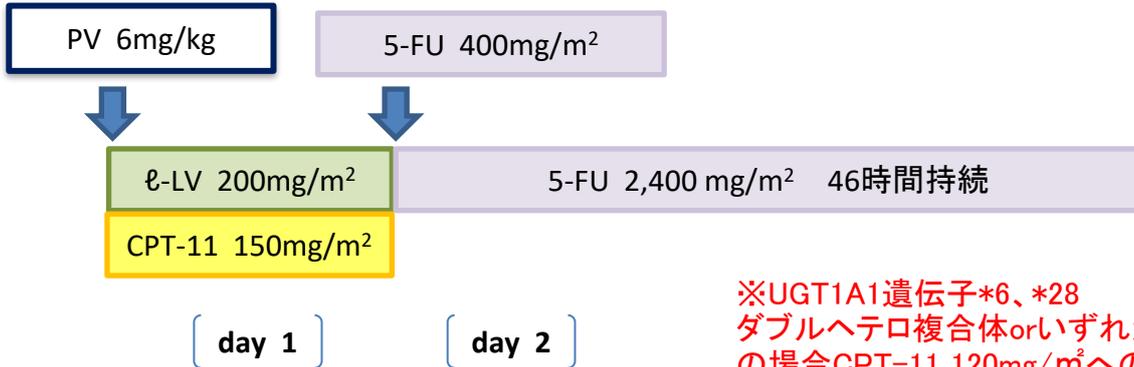


FOLFIRI + Pmab

切除不能進行・再発大腸癌

対象患者: PS 0-1



2W1クール

NO	薬品名・規格	投与量	投与速度
1	アロキシバッグ 0.75mg 50ml デキサート 9.9mg		15分
2	生食 100ml ベクティビックス	mg	60分
3	生食 50ml		15分
4	5% Tz 250ml レボホリナート	mg	120分
5	5% Tz 250ml イリノテカン	mg	120分
6	生食 50ml 5-FU	mg	全開で
7	生食 250ml 5-FU	ml mg	46時間

同時投与

シユアフューサーポンプ使用時
生食量は5-FU量による

- 投与後早期(投与中または投与後1-2日目)に発現する腹痛や下痢に対しては、アトロピン0.5-1Aもしくはブスコパンの混注を考慮して下さい。
- 本治療を行う前にUGT1A1遺伝子の検査を実施して下さい。
- Panitumumab治療開始時には保湿剤(ヘパリン類似物質製剤等)の外用剤治療を行って下さい。またテトラサイクリン系薬剤(ミノマイシン等)でのぞ瘡様皮膚炎の予防を考慮して下さい(目安:6週間)。
- Panitumumabの投与前及び投与中、投与終了後などに月1回程度定期的な血清電解質(マグネシウム、カリウム及びカルシウム)の測定、モニタリングを行ってください。

経口制吐剤: Day2-3

デカドロン錠(4mg) 1錠 分1(朝) Day2-3

注: 本剤の投与にあたっては、インラインフィルター(0.2又は0.22µm)を使用する事。